

えきしろトークライブ 松本におけるパブリックライフの 発見とその実現を考える

提供 松本城三の丸エアプラットフォーム



参加
無料

松本駅から松本城までをつなぐ「えきしろ空間」。

これから、どんな場所になったらすてきだと思いますか？

松本駅周辺で、「ここで過ごしたいな」と思える空間。

「また来たい」と感じるまち。

そんな「パブリックライフの充実」をテーマに、松本のえきしろ空間活性協議会委員と、全国でまちづくりに取り組む専門家と一緒に、市民の皆さんと考えるトークライブを開きます。

ぜひ、お気軽にご参加ください。

パブリックライフとは、学校の行き帰りや放課後のおしゃべり、バルコニーでのコーヒータイム、ご近所との立ち話、広場でのイベントや観光客との交流など、街路・広場・公園・河川敷といった誰もが自由に過ごせる空間で生まれる、外でのあらゆる活動や出来事のことです。私たちがまちに出て、目にする日常の風景そのものがパブリックライフです。

2026
3.20 [金・祝]
14:30 - 16:30 (開場 14:00)
開催場所 M ウイング 6 階 ホール



登壇者



ホテルニューステーション
代表取締役

小林 篤史



龍谷大学 経営学部商学科
准教授

鈴木 美央



熊本大学 くまもと水循環・
減災研究教育センター 教授

星野 裕司

昨年度、「松本市中心市街地再設計検討会議 提言(以下、提言)」の取りまとめに携わる。現在は、えきしろ空間活性協議会委員。本業では地域に根ざした宿泊サービスに取り組む。

専門は都市デザイン・パブリックスペースデザイン。公共空間の利活用やプレイスメイキングを軸に、研究と実践を重ねる。著書に『マーケットでまちを変える 人が集まる公共空間のつくり方』。

専門は景観デザイン・土木デザイン。社会基盤施設のデザインを軸に地域づくりの研究・実践を行う。熊本市の花畑広場では土木学会デザイン賞最優秀賞、グッドデザイン賞を受賞。

プログラム

- 1 提言・松本の現状の紹介
(小林 篤史)
- 2 「マーケットから考える私たちのパブリックライフ」
の作り方、見つけ方
(鈴木 美央)
- 3 日常の使い方から考える
パブリックライフを支える公共空間のデザイン
(星野 裕司)
- 4 クロストーク
「松本のパブリックライフとその実現」
(小林 篤史 × 鈴木 美央 × 星野 裕司)

参加方法

- ・申請フォームまたは下記 URL からお申込み下さい。
- ・申請フォームからお申込みできない場合のみ、「お問合せ」へお電話でお申込み下さい。

※事前にお申込みいただいた方を優先してご案内いたします。

URL : <https://logoform.jp/form/N7tm/1440834>



主催・お問合せ

松本市 総合戦略局 中心市街地活性本部

TEL 0263-34-3276

MAIL chushin@city.matsumoto.lg.jp